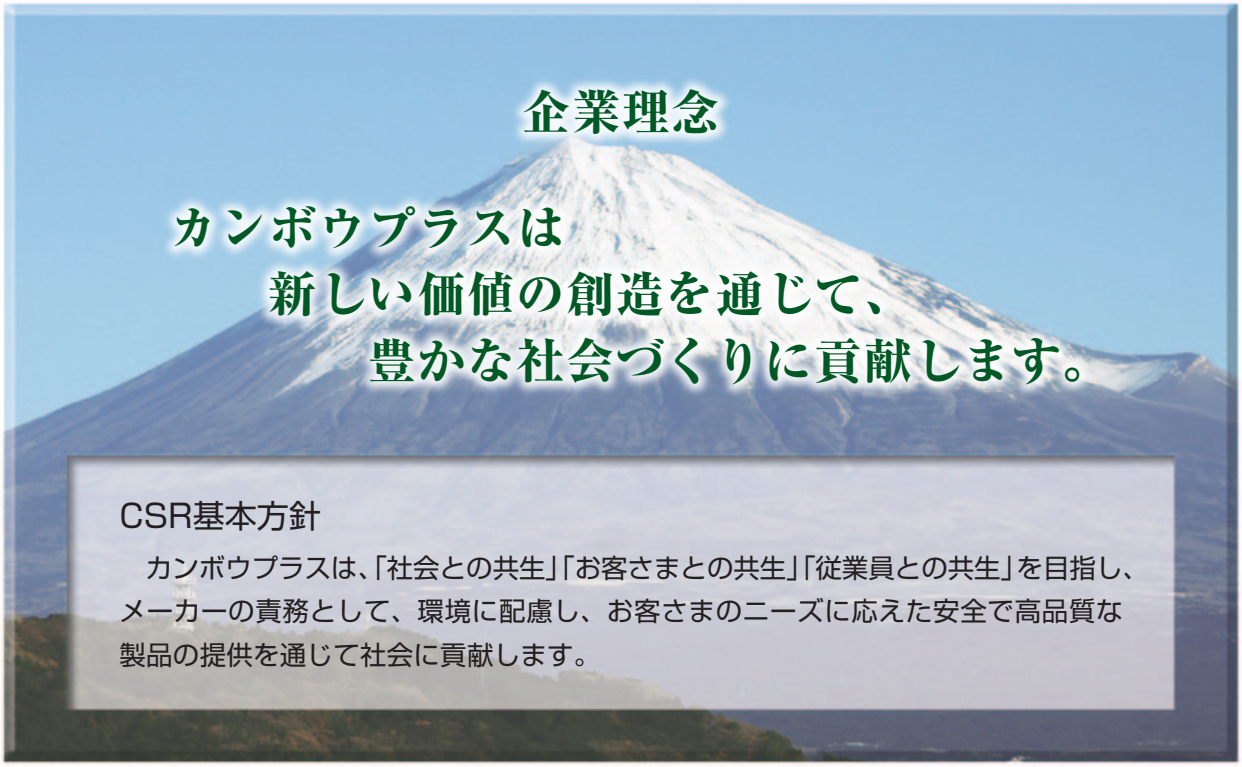
2013 CSR報告書 カンボウプラス

CSR：corporate social responsibility

新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりに貢献します

KANBO PRAS



企業理念

カンボウプラスは
新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりに貢献します。

CSR基本方針

カンボウプラスは、「社会との共生」「お客さまとの共生」「従業員との共生」を目指し、メーカーの責務として、環境に配慮し、お客さまのニーズに応えた安全で高品質な製品の提供を通じて社会に貢献します。

CONTENTS

トップメッセージ	2
社会とのかかわり	3
環境とのかかわり	6
その他のかかわり	9
ＣＳＲ自己評価	裏表紙

カンボウプラスの概要

代　表　者	代表取締役社長　太田克則
設　　立	1939年3月24日
資　本　金	10億2,030万円
決　算　月	3月
従　業　員	170人
主要事業	1. ファイバー（繊維）とプラスチック（樹脂）の複合化による キャンバスの製造と販売 2. キャンバスをデザイン・設計・縫製した商品の販売 3. 一級建築士事務所　建築物・工作物の設計・施工
事　業　所	本社、東京支店、福井工場
外部認証	福井工場　ISO9001、ISO14001

社会・地域・お客さまと共に

≪事業継続と環境維持のための活動≫

今年は「環境基本法」が公布されてから20年になります。法令を遵守し、事業継続と環境維持のための取り組みを、今後も続けていきます。

この法律は、「人類の存続の基盤である環境が将来にわたって維持されるように」との基本理念に基づいて制定されたもので循環型社会形成や生物多様性等のさまざまな方策がとられるようになりました。当社の取り組みとして、省エネ・CO_2削減・地域社会との共生等を掲げ、活動しております。

そんな中で昨年度は特に、東日本大震災直後から、復旧・復興支援のひとつとして放射能汚染土壌の保管用に当社のフレキシブルコンテナバッグの提供を行っており、除染関係資材で当社の強みを発揮しています。

人々がより安全に安心して暮らすための街づくりに、当社のノウハウを提供することによって、社会的責任を果たしていきたいと思っています。

≪企業内環境の整備（従業員を大切にする経営の実践）≫

企業は人により良くも悪くも動いていく、事業を継続し、社会に生かされる企業になるために、働きやすい職場の構築が必要であると考えています。

大企業ではないので十分な体制はとれないとは思っていますが、今労使で人事制度の改革・各規定の見直しを行い、働きやすい職場とは何かを試行錯誤している最中です。

各従業員が持っている能力をいかんなく発揮してくれるような経営を目指し、その能力で社会貢献できるよう、後押ししていくつもりです。

ステークホルダーの皆さまにあの会社は、”いい会社”と言われるよう全社で努力してまいります。

ここにお届けする「2013 CSR報告書」は、当社が平成24年度に取り組んだCSR活動の内容をステークホルダーの皆さまに紹介するものです。お手数ですが、皆さまの忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

代表取締役社長　太田克則

当社商品のご紹介

高性能大型土のう袋

「バオウ」 KNT900　3年タイプ

災害復旧工事、河川・道路工事などの仮設材料に適用する耐候性大型土のう袋です。

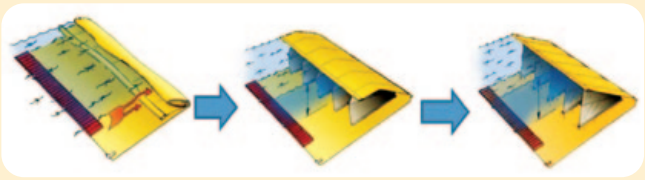
吊下げ材耐候試験 1,500時間　強度保持率 97%
（※サンシャインウェザーメーター試験機による耐候性データです。）

<製品規格>
製品寸法：φ1100×高さ1100mm
容積：1㎥
入り数：5枚／包

止水シート

災害時の土のうに代わる製品です。

上下シートの間に流れ込んだ水の力により上シートが上がり、下向きの水流ができ、その場に固定され、水をせき止めます。



アクアマイスター

折畳み式簡易水槽「アクアマイスター」は、水を入れることにより自立する貯水槽です。

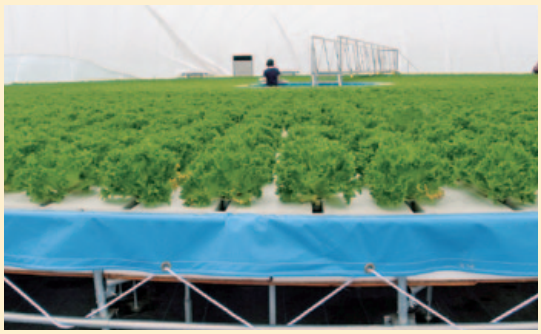
主 材 料：PVCターポリン、EVAターポリン
形状･容量：6角形　（対角1,600×対面1,390×高さ800mm）
　　8角形　（対角2,090×対面1,930×高さ800mm）
　　10角形　（対角2,590×対面2,460×高さ800mm）

※主材料を選択することにより、多くの用途に対応可能です。
※ホコリ・ゴミを防ぐふた付タイプもございます。

水耕栽培用シート

レタスなどの水耕栽培における水の容器部として当社膜材が使用されています。

膜材質：PVCターポリン　（厚生省告示第370号規格試験適合品）



当社商品のご紹介

ダイナスターシリーズ

酸化チタン光触媒を採用した高品質な膜材料です。
「ダイナスター」は酸化チタン光触媒により表面層を分解し、汚れも共に除去する当社が開発した「セルフリニューアル」システムによる防汚性の高い膜材料です。

ダイナスター（テント倉庫用）

- 国土交通大臣認定番号（建築材料の品質）：MMEM−0027
- 国土交通大臣認定番号（防火認定）：UW−9017
- 防炎製品認定番号：F−19094

ダイナスターB300（不燃B種膜材料）

- 国土交通大臣認定番号（建築材料の品質）：MMEM−0033
- 国土交通大臣認定番号（不燃認定）：NM−2577
- 防炎製品認定番号：F−24019

ダイナスターC200（C種膜材料） 新商品

- 国土交通大臣認定番号（建築材料の品質）：MMEM−0039
- 国土交通大臣認定番号（防火認定）：DW−0109
- 防炎製品認定番号：F−23049

ダイナスターの表面温度が通常テント倉庫用製品と比較し、低くなることが実証されました

シート表面温度	ダイナスターホワイト 43℃	通常テント倉庫用 ホワイト 49℃

時刻 14：30　気温 33.4℃　湿度 50.1%　　調査日：2011年8月14日（晴天　当社福井工場にて）

仙台市屋内バスケットコート

品質管理にかかわるトピックス

カンボウプラスは、お客さまが安心してご使用いただける製品の提供を目標に品質改善を続けます。

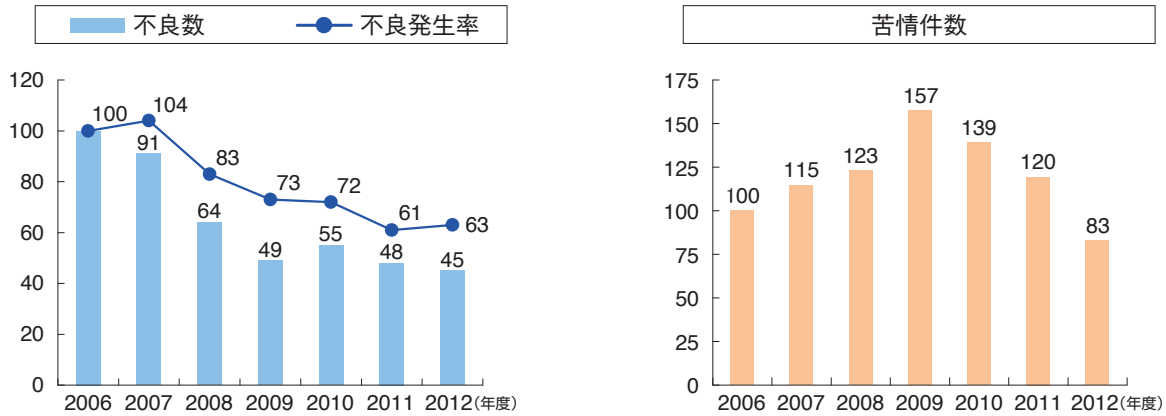
カンボウプラスでは、品質管理システム（ISO9001）に基づき、製品開発から製造、出荷にいたるまで、お客さまの目線で審査を繰り返すことで製品の品質を高めています。

品質方針

福井工場は、お客さまに望まれる製品を提供する。
福井工場は、法令を遵守し、社会的役割を果たす。
福井工場は、品質マネジメントシステムを継続的に改善する。
福井工場は、測定可能な品質目標を設定し、達成させる。
改定：2009年8月1日

2006年度を100とした不良品発生件数は、着実に減少しています。
苦情として当社に寄せられるお客さまの声は、「是正処置」となって製造現場に伝えられ、不良品の発生防止に役立てられています。

不良品発生と苦情発生件数の改善状況

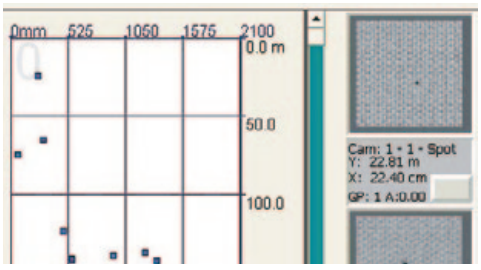


（注）2006年度を100とした場合の指数表示となっています。

不良品の流出防止

お客さまが求める品質に応えるべく、製品検査体制の見直しを行っています。
2011年に導入した『自動検査システム』の適用製品を随時拡大し、不良品の流出を防止しています。
検査工程を機械化することで、検査精度と作業速度を向上させることができました。
この検査で得られた欠点情報は製造工程にフィードバックし、品質向上に役立てています。

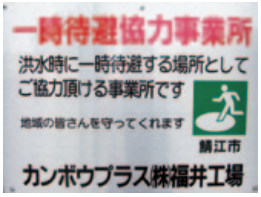
自動欠点検出機



機械による検査情報：欠点画像と発生位置を表示する

地域社会に対する取り組み

●地域の美化運動の実施として、近隣の清掃活動を1回／月実施しています。
2012年度は、延べ人数180人／年が参加しました。
●災害時における地域との連携
水害時に、地域の皆様が一時待避できる事業所になっています。



事業活動における環境負荷（当社工場）

INPUT		事業活動	OUTPUT	
水資源	347千t	生産数量 21,278千㎡	廃棄物のリサイクル量	751t
エネルギー	3,772kl		廃棄物のリユース量	45t
薬品・顔料	5,555t		最終処分廃棄物量	860t
フィルム	2,315km		CO_2の排出量	8,791t
生地	22,309千㎡			

地球温暖化防止への取り組み

モーダルシフトでは207tCO_2削減、ノーマイカー通勤では延べ1,400人の参加者、エコキャップ活動では27,700個の回収などの実績でした。

本社部門ではクールビズやエアコンの温度調整などにより、前年度に対し−7.5%の節電の効果が得られました。

その他、非生産部門では

■三事業所合同の定例会議でのテレビ会議システムの導入

マイナス※432kg／年のCO_2削減の効果　＜　経費削減＋事業所間移動時間ロス削減

※電車での移動のCO_2排出量が約19ｇ／人−kmとのデータと事業所間往復距離×延べ人数＝400km×60名より推定しました。

■紙台帳を電子帳票へ移行（電子帳票化についての効果はP10に記載）

紙の消費量削減効果　＜　台帳検索時間＋保管スペース削減

等の業務効率化によるCO_2削減活動が実施され効果が得られました。

製造部門は特に多くのエネルギーを消費する業態でもあり、地球温暖化防止＝効率的生産との意識で業務改善を続けていくことが重要です。

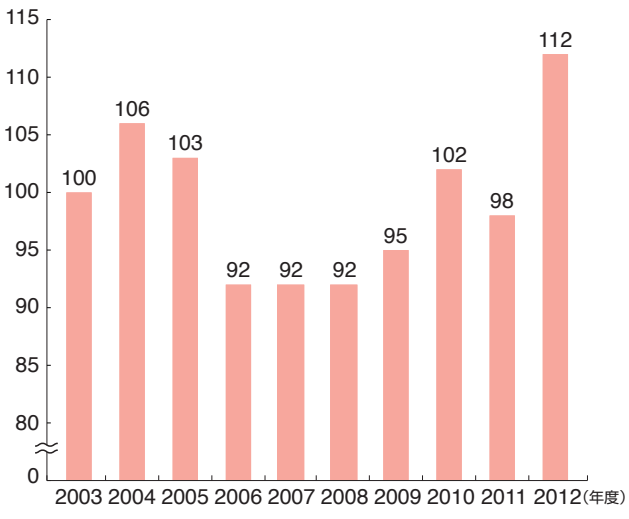
生産量あたりのエネルギー消費量とCO_2排出量

原油換算消費量の絶対値は2003年に対し7.2%削減されているものの単位生産面積あたりの消費量は＋12%となりました。

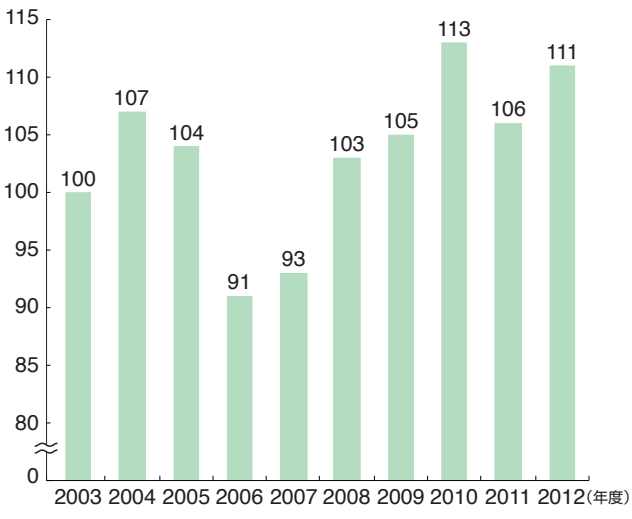
生産形態や受注内容の変化に対して効率的な生産が出来なかったものと反省されます。

CO_2排出量も2003年対比で増加11%でした。この理由は従来大気中に排出されていたVOC類を2011年度に導入した燃焼装置によりCO_2化した事によって増加しています。

エネルギー消費量原単位推移



CO_2排出量原単位推移

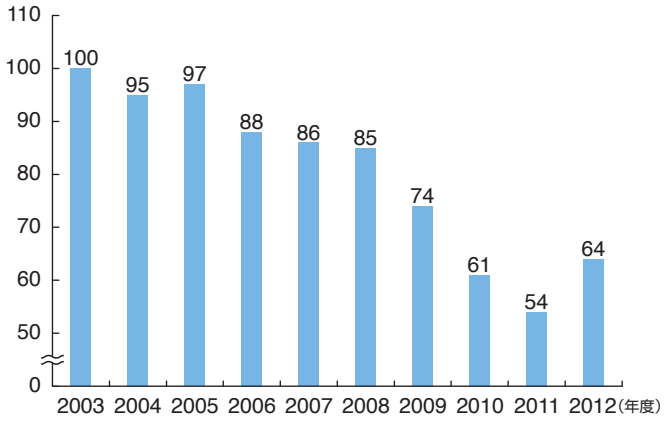


（注）2003年度を100とした場合の指数表示となっています。

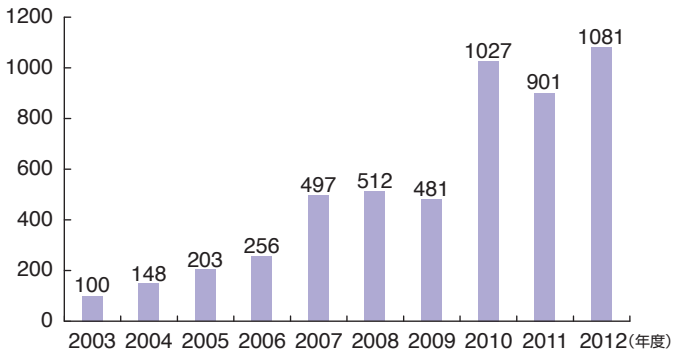
廃棄物削減への取り組み

最終処分量は2003年度を100として36%の削減でしたが、前年度よりやや悪化しました。
一方、リサイクルとリユースにおいては前年度以上に有価物化が進み、2003年度に対し約11倍となる改善が進みました。
各指標は各年度別の実数を生産量あたりに換算したデータです。

最終処分量推移指数



リサイクル・リユース量推移指数



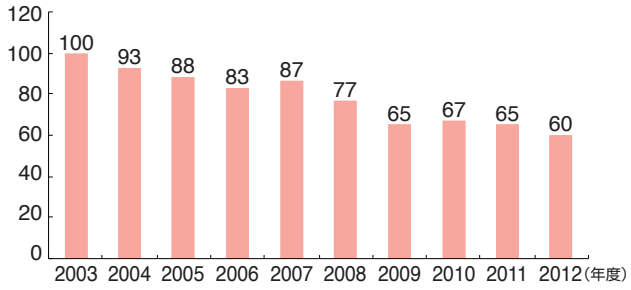
化学物質の管理

化学物質の管理の一側面として、各製品のMSDSシートや含有物質調査への対応を実施しています。
2012年度はお客さまから約400件の問い合わせに対し報告をさせていただきました。
報告までの所要日数は3日以内実施率60%でした。3日以内100%を目指して改善予定です。
2013年度にはこれらのデータ作成のIT化を進め、短納期を達成できるよう努力いたします。
また、近年は「REACH規制」「コンフリクトミネラルの含有」「輸出貿易管理令に関する該否判定」「ハラール」に対する問い合わせなど、グローバルな含有物に関する問い合わせが増えています。

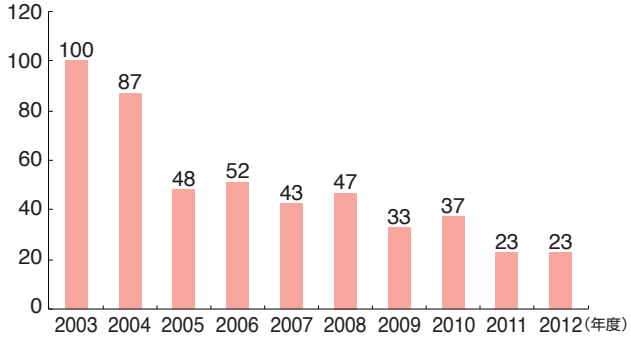
PRTR法への対応

PRTR対象物質の取扱量・排出量・移動量について調査報告を実施しています。
2003年度を100として、各指標とも減少傾向にあります。
排出量の減少理由はVOC除去装置などの環境対策による効果です。
移動量も減少傾向にあります。理由は廃棄物のリサイクル・リユースの対策によるものです。
各指標は各年度別の実数を生産量あたりに換算したデータです。

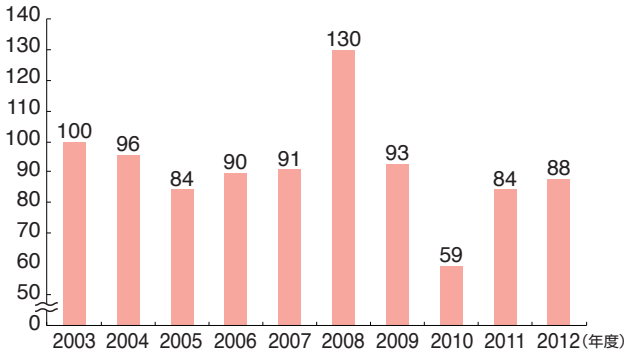
PRTR対象物質取扱量推移



PRTR対象物質排出量推移



PRTR対象物質移動量推移



（注）2003年度を100とした場合の指数表示となっています。

環境方針

当社は、地球環境と自然保全に努め、より安全な製品を提供し続けて
『環境のカンボウ』を目指します。
『環境基本方針』
当社は産業資材、工業資材、生活資材及びその他の樹脂加工繊維製品の生産を中心とした企業活動において、環境負荷の低減を目指し、以下の方針に則って行動します。

1　当社は、地域社会と協調し、対話を大切にし、環境管理活動を通じて社会に貢献します。
2　当社の事業活動において、省資源、廃棄物の削減、環境負荷物質の管理を行い、汚染の予防を含めた、より良い環境の維持、向上に取り組みます。
3　定期的な内部環境監査の実施により、環境管理活動の実施状況と結果を確認し、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
4　当社の事業活動に関係する環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
5　当社の事業活動にかかわる環境側面について、環境目的及び目標を設定します。また、環境目的及び目標は、環境方針と共に、年一回見直しを行います。
6　環境方針は、環境方針書として文書化し、環境マネジメントシステムにより実行、維持します。
7　環境方針は、全従業員に周知認識し、方針に則って行動するように、全従業員に対する教育、訓練を実施します。

本環境方針は、社外からの要求、その他必要に応じて公表します。
改定　2008年4月1日

グリーン推進活動

企業活動において、地域社会や地球環境との関わりは、必要条件になっています。
グリーン推進委員会が定めた、グリーン推進活動計画に基づき、全社的に環境改善活動を行っています。

【主な活動内容】

●全従業員へ環境に対する教育の啓蒙
●ノーマイカー活動、エコキャップ活動の参加
　ノーマイカー活動では、福井事業所がモデル会社としてＴＶで放映されました。
●製品出荷をトラックから鉄道に移行することによるCO_2削減（モーダルシフト）
●廃棄物削減の活動
●節電・省エネの徹底実施によるエネルギー使用量の削減

ノーマイカー活動

エコキャップ活動

従業員への教育

2012年度は、「コンプライアンス（法令遵守）とリスクマネジメント」を重点課題とし、社内・社外の教育の充実に取り組んでまいりました。今後も従業員教育を充実し、CSRの推進に取り組んでまいります。

（実施した研修）

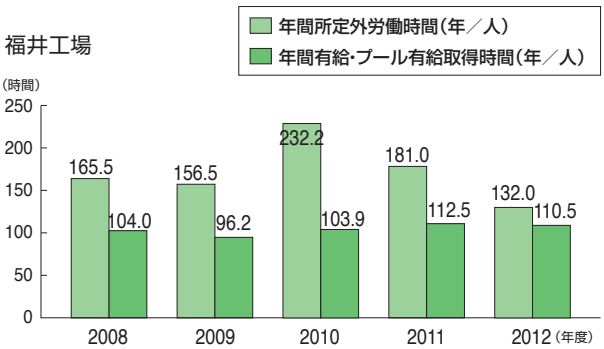
実施日	研修名	研修内容
2012年 4月	新入社員研修	新・社会人ビジネスマナー基礎研修、社外安全講習、パソコン講習等
4月	管理職研修	IT活用の事例と今後の展望
6月	カンボウカレッジ	確定拠出年金（401K）投資教育
7月	技術職研修	福井県工業技術センター見学
7月	営業職研修	知的財産について（商標関連）
7月	中級職研修	若手・中堅社員　若手リーダーの役割と後輩指導
9月	カンボウカレッジ	大阪市立阿倍野防災センター見学
10月	管理職研修	メンタルヘルスの現状と職場の対応
11月	技術職研修	発想力を鍛える
12月	事務職研修	情報セキュリティーについて
12月	営業職研修	リスクに強い会社の作り方について
2013年 2月	昇級者研修	監督職の役割・CSRと環境について
2月	新入社員フォローアップ研修	「仕事の基本、職場のルール」と「環境」について
3月	考課者訓練	考課者の目線合わせ、レベルアップ（各事業所）
3月	製造職研修	ヒューマンエラーを防ぐ

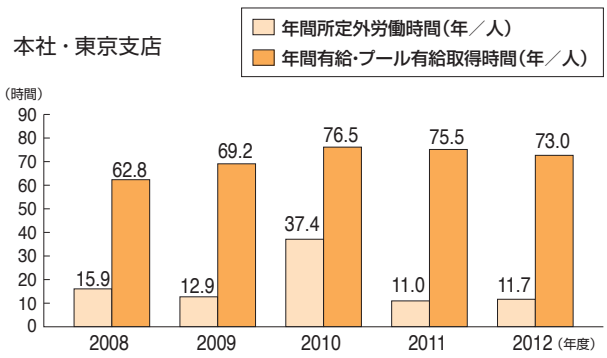
営業職研修

技術職研修

ワークライフバランス

仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を目的に、時間外労働時間の削減、ノー残業デー（オール定時）の設定、誕生日有給休暇、一斉有給休暇の取得に取り組んでおります。





労働安全衛生

従業員の安全と健康を守るため、職場の研修や教育を実施してまいりました。また、安全衛生パトロールや安全衛生委員会を労使合同で実施いたしました。

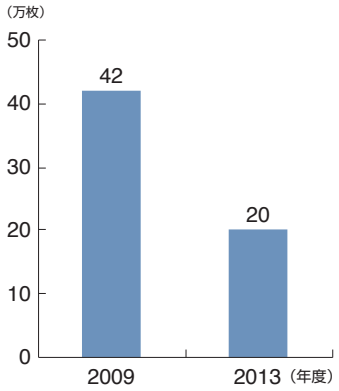
主な活動	事業所
安全衛生管理活動計画表（平成25年度）提出	本社・東京・福井工場
安全衛生委員会の定期開催（労使合同）	本社・東京・福井工場
安全衛生パトロールの定期実施と是正	本社・東京・福井工場
新入社員への安全衛生教育の実施	本社・東京・福井工場
定期健診（1回／年）、生活習慣病予防検診、健康相談会の実施	本社・東京・福井工場
うがい薬・消毒薬の設置	本社・東京・福井工場
作業環境測定	本社・東京・福井工場
メンタルヘルスについて研修の実施（外部講師）	本社・東京・福井工場
特殊健康診断（2回／年）	福井工場
冬用タイヤ装着確認	福井工場

電子帳票化

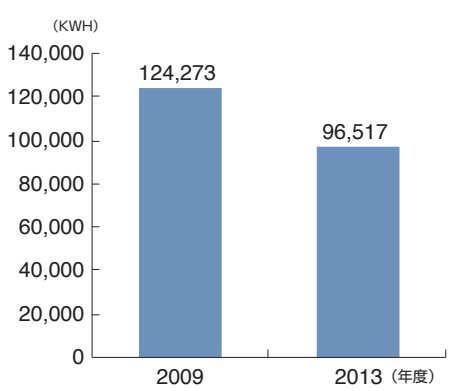
当社ではプリンタから出力される膨大な帳票を電子化し、パソコンより閲覧するシステムを導入しました。これにより業務の効率化（帳票の仕訳作業、帳票保管スペースの削減、及び運送時間の削減等）を図り、用紙使用量や印刷作業及び帳票輸送量を削減することで、地球温暖化ガス（CO_2）排出量の削減による社会貢献に寄与しております。

電子帳票システム導入後では紙排出枚数は約22万枚、電力消費量は27,756KWHの削減となり、これに伴うCO_2排出量は28%の削減となりました。

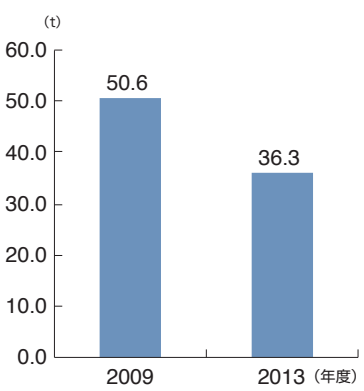
紙排出量



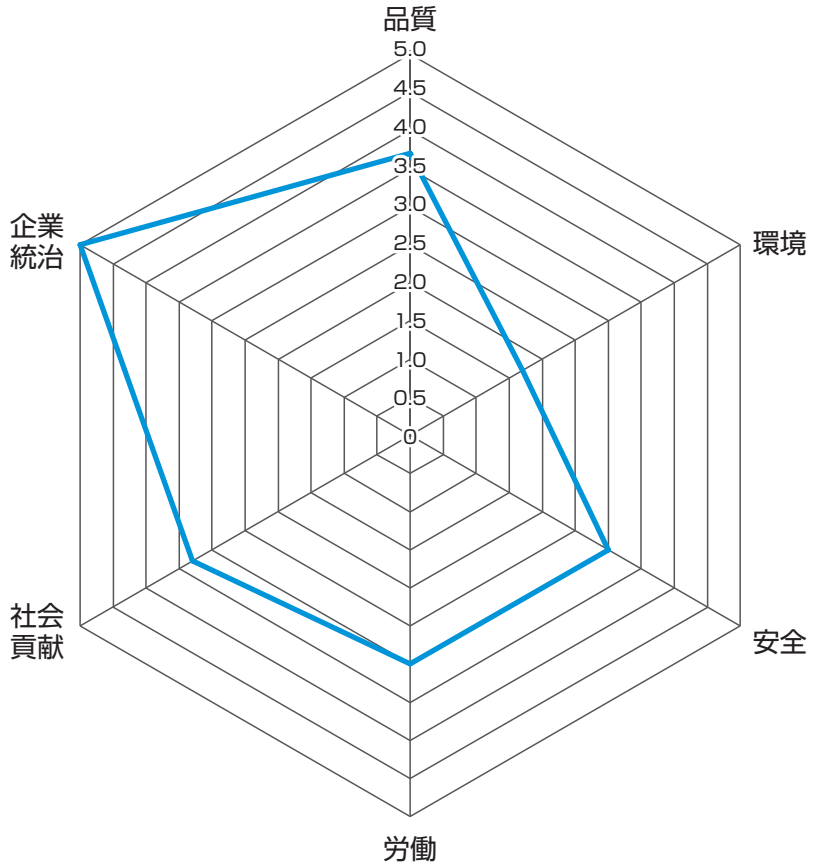
電力消費量



CO_2排出量



ＣＳＲ自己評価



品　　質	3.7
環　　境	1.7
安　　全	3.0
労　　働	3.0
社会貢献	3.3
企業統治	5.0

本年度よりCSR自己評価の方式を総合点評価から6項目別の評価によるレーダーチャート方式に改めました。
各項目の評価項目は前年度とほぼ同じ内容としているため、社内外の視点からの状態が表されています。

表紙の写真は当社社員の高野丈生氏・木村吉年氏・西俊行氏の作品を使用させていただきました。

カンボウプラス株式会社
〒541-0054
大阪市中央区南本町1-8-14　堺筋本町ビル
TEL 06-6262-1277　FAX 06-6262-9419
URL http://www.kanbo.co.jp/